

平成19年度 食品等の検査計画

食品等の種別		国産/輸入の別	検査対象食品	検査項目	収去場所	検査機関	検体数	件数	
農畜水産物	農産物	国産品 (府内産・流通品)	穀物、野菜、果実 ハビ-フードの原材料	残留農薬	市場、JA、 小売店、製造所	1	約280 (約260)	約18,300 (約15,000)	
			穀物、野菜、果実 ハビ-フードの原材料	有害化学物質(環境ホルモン)	市場、JA、 小売店、製造所				
		輸入品	野菜、果実、給食食材 ハビ-フード原材料	残留農薬	市場、小売店、 製造所				
			野菜、果実、給食食材 ハビ-フード原材料	有害化学物質(環境ホルモン)	市場、小売店、 製造所				
			果実(柑橘類)	食品添加物(防かび剤)	小売店				
	肉類	牛肉	国産品 (府内産)	筋肉	抗菌性物質	食肉センター	2	約20 (約30)	約40 (約50)
					抗生物質 (スクリーニング検査)	食肉センター			
		鶏肉	国産品 (府内産)	筋肉	抗生物質 (スクリーニング検査)	食鳥処理場	2	約50 (約40)	約70 (約60)
					細菌検査	食鳥処理場			
		豚肉	国産流通品	筋肉	細菌検査	小売店	1	約10 (約10)	約10 (約10)
					細菌検査	小売店、製造所			
	卵類	国産品(府内産)	鶏卵	細菌検査	GPセンター、養鶏場	2	約50 (約30)	約170 (約110)	
				抗生物質	GPセンター、養鶏場				
	乳類	国産品 (府内産)	牛乳	規格基準	製造所	1・2	約15 (約10)	約80 (約70)	
				規格基準	製造所	1			
	魚介類	国産品 (府内産)	イワキ	ウイルス検査	漁連、漁協	2	約45 (約40)	約80 (約70)	
				ウイルス検査	漁連、漁協				
				有害化学物質(環境ホルモン)	漁連、漁協				
			養殖魚	抗生物質	漁連、漁協	1			
			マガキ	麻痺性貝毒	漁連、漁協				
アサリ			麻痺性貝毒	漁連、漁協					
有害化学物質(環境ホルモン)			漁連、漁協						
輸入品		エビ	抗生物質	小売店					
加工食品等	国産品 (府内産)	魚肉ねり製品	規格基準	製造所	2	約920 (約920)	約3,400 (約3,400)		
		魚肉ねり製品	食品添加物(保存料)	製造所					
		食肉製品	食品添加物(発色剤)	製造所、小売店					
		ワイン	食品添加物(酸化防止剤)	製造所					
		煮干し	食品添加物(酸化防止剤)	製造所					
		清涼飲料水	食品添加物(甘味料)	製造所					
		弁当、そうざい	細菌検査	製造所、小売店					
		食肉製品	食品添加物(保存料)	製造所、小売店					
		国産流通品	そうざい、漬物	食品添加物(保存料)				小売店	
			乾燥果実、甘納豆	食品添加物(漂白剤)				小売店	
	トルト食品(ハビ-フード)		規格基準	小売店					
	輸入品	うなぎ蒲焼き	抗菌性物質	製造所、小売店	1				
新開発食品	輸入品	大豆、トクモロコシ使用 食品の原材料	組換え遺伝子	製造所、学校給食	1	約15 (約30)	約25 (約30)		
その他	器具容器 包装	国産流通品	紙製容器使用食品	蛍光物質	小売店	2	約40 (約40)	約40 (約40)	
		輸入品	割りばし	漂白剤	小売店				
	その他の 食品	国産流通品 輸入品	健康食品	医薬品成分	小売店	1	約15 (約15)	約90 (約90)	

\* 検査機関欄 1:保健環境研究所、 2:拠点保健所

\* 検体数、件数欄の( )は、18年度計画数